

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第7回武蔵村山市観光施策検討協議会
開 催 日 時	平成23年6月29日（木）午前9時30分から午前11時30分まで
開 催 場 所	市役所3階 301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：溝尾良隆、高橋茂明、高橋敏彦、古屋勤、佐保満和、高橋昭、乙幡章吾、 小林充子、田村崇寛 欠席者：嶋田一成、江村信彦、柳澤有三、乙幡清次、青柳真紀子、乙幡弘、鳴川 和広 事務局：市民生活部長、地域振興課長、地域振興課観光グループ主査、同グルー プ井上、農政グループ主任 委託業者：川本直弘、南澤健次
議 題	(1) 武蔵村山市における道の駅について (2) その他
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保留 事項等を記載する。)	(1) 武蔵村山市における道の駅について ① 道の駅候補地（第一予定区域）について、検討協議会の意見をもとに事務 局が市長と調整する。 (2) その他 ① 次回検討協議会の日程 8月4日（木）に「道の駅なるさわ」の視察を行うことに決定。
審 議 経 過 (主な意見を原則と して発言順に記載 し、同一内容は一つ にまとめる。)  ○ 委員 ● 事務局	(1) 武蔵村山市における道の駅について ※道の駅候補地（第一予定区域）の検討資料について、事務局より説明。 ○ ①（第一予定区域内①地区）の隣地は今回の検討の対象となるのか。 ● ①と同程度の敷地面積はあるが、民間住宅7軒、アパート1軒があり難し い。 ○ 市立歴史民俗資料館は①に移せないのか。 ● 市立歴史民俗資料館敷地の一部（収蔵庫用地）は国からの補助を受けてお り移すのは難しい。第一学校給食センターの備品も一部補助を受けている。 ○ ②及び⑥地区の裏は私有地か。 ● 私有地であるが、一部は野山北公園となっている。 ○ ②の所有者の意向はどうか。 ● 過去に売却の話があったが、白紙となった経緯がある。 ○ ③と④で必要な面積は取れるのではないか。 ○ 分散しているのが問題である。 ○ ①は道の駅のイメージに合うが、②③④は行き止まりのため道の駅のイメ ージではない。 ○ 分散していても並んでいると賑やかになるのではないか。他の道の駅とは 異なるイメージを与えることができ、かたくりの湯がメインになるかと思う が、散策することができれば離れていてもよいと思う。 ○ かたくりの湯はリニューアルに費用がかかり、トータルイメージを作る必 要がある。 ○ ④の運動場は、花火大会や消防の出初式で使用しており、そこに施設を作 ったら、それらのイベントはどうするのか。 ○ ④はイベント会場として活用も検討すればよいのではないか。 ○ 「道の駅みまき」（長野県東御市）は、温泉施設と老人福祉施設がある道の 駅である。 ● 障害者施設の移動は難しい。市立歴史民俗資料館の移動の方が容易である。 市としては、かたくりの湯を交流の拠点と考えている。 ○ かたくりの湯を中心として周辺も含めて①を検討すると、施設の移動は大 変であり、私有地の交渉も難しい。④の活用は面白い道の駅となるが、道路 沿いであることが望ましい、歴史民俗資料館を動かしたら良いのではないか。

